

総合科目「舞台芸術に触れる」

1. 授業概要

授業題目：舞台芸術に触れる

授業の目標：

舞台芸術を観る目を養い、語劇の質的向上に役立てるとともに、広く言葉と身体文化の関係について考える。

授業の概要：

専任教員やゲスト・スピーカーによる講義を通じて舞台を観る目を養う。
また、新国立劇場のアカデミック・プランを利用して実際に劇場で舞台作品を鑑賞する。

授業の計画：

教員による講義の他、舞台芸術に携わるプロフェッショナルをゲスト・スピーカーとして招き、演劇・オペラ・バレエ作品の重要な場面をビデオで鑑賞しつつ、生きた舞台芸術を実際に劇場で観ることの意義を理解します。毎回簡単なレスポンスペーパーを提出してもらいます。また、新国立劇場のアカデミック・プランを利用して受講生の自己負担で作品を鑑賞し、その1作品についてレポートを提出してもらいます。

成績評価の方法：

各回のレスポンスペーパー（60%）と作品の鑑賞レポート（40%）により評価します。
作品は新国立劇場の公演以外のものも可。また語劇 GP 主催の特別講演会に出席してレスポンスペーパーを提出した場合は出席点として加算します。

受講上の注意：

作品鑑賞の実費は受講生の自己負担。語劇支援 GP が企画した講義ですが、語劇参加者に限らず、言葉と身体に興味を持つ多くの学生の聴講を期待します。

テキスト・教材・参考書等：

初回の授業で、全体に共通する文献・資料の一覧を配布するとともに、各回必要に応じてプリント配布。

2. 授業日程

1	04/16	月	川上茂信	オリエンテーション
2	04/23	月	佐野勝也（演出家）	劇場という空間
3	05/07	月	近藤弘幸（学芸大学）	ヨーロッパ演劇を考える I：シェイクスピア
4	05/14	月	谷川道子	ヨーロッパ演劇を考える II：ブレヒト
5	05/21	月	柳原孝敦	ヨーロッパ演劇を考える III：スペイン演劇
6	05/28	月	田之倉稔（演劇評論）	ヨーロッパ演劇を考える IV：イタリア演劇
7	06/04	月	小林常吉（新国立劇場）	オペラ
8	06/11	月	川上茂信	フラメンコ
9	06/18	月	永田宜子（新国立劇場）	バレエ
10	06/25	月	中島豊（新国立劇場）	演劇
11	07/02	月	宮城聡（演出家）	世界は劇場にあり、教育は劇場にあり（仮）
12	07/09	月	麻田豊	インド・パキスタンで語劇を上演する
13	07/23	月	佐野勝也（演出家）	21世紀のパフォーミング・アーツ
14	07/24	火		予備日

3. 新国立劇場の学生優待制度

3.1. アカデミック・プラン

新国立劇場のサイト（<http://www.nntt.jac.go.jp/index.html>）に行き、右側のメニューから「eメール Club」へ飛ぶと、「アカデミック・プラン」についての説明があります：

アカデミック・プラン（25才以下の方が対象となります）にご登録いただきますと公演初日の2週間程度前、空席がある場合に特別料金でご覧いただける情報をメールでご案内いたします。

3.2. Z席・当日割引

新国立劇場ボックスオフィス（<http://www.nntt.jac.go.jp/season/boffice/index.html>）：

オペラ劇場 Z席（1,500円）：公演前日に学生・生徒の方のみを対象にチケットぴあ5店舗で販売します（ボックスオフィスでは販売しません）。1人1枚。電話予約不可。要学生証。

オペラ劇場当日学生割引（50%割引/D席・Z席を除く）：公演当日のみボックスオフィスとチケットぴあ一部店舗で販売します。1人1枚。電話予約不可。要学生証。

中劇場・小劇場 Z席・当日学生割引（50%割引/Z席を除く全席種に残席がある場合）：公演当日のみボックスオフィスとチケットぴあ一部店舗で販売します。当日学生割引のお求めには学生証が必要です。